

## J Aバンク石川における地域密着型金融の取組状況（平成 22 年度）

J Aバンク石川（石川県下 17 J Aと石川県信用農業協同組合連合会（以下、「信連」という。)) では、農業と地域社会に貢献するため、平成 22～24 年度 J Aバンク石川中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

平成 22 年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

### 1 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援 （J Aバンク石川の農業メインバンク機能強化への取組み）

J Aバンク石川は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

#### （1）農業融資商品の適切な提供・開発

J Aバンク石川は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

平成 22 年度は、米戸別所得補償モデル対策が実施されたことから、米戸別所得補償モデル対策交付金が入金されるまでの運転資金として、「J Aアグリマイティ資金」を創設し、農業者の資金繰りの円滑化に努めています。

平成 23 年 3 月末時点の J Aバンク石川の農業関係資金残高<sup>(注 1)</sup>は 21,321 百万円、日本政策金融公庫等の受託貸付金<sup>(注 2)</sup>残高は 2,829 百万円を取扱っています。

（注 1）農業関係の貸出金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関する事業に必要な資金等が該当します。

（注 2）J Aバンク石川が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。受託貸付金残高には、J A転貸分を含みます。

#### 【営農類型別農業資金残高】 単位 百万円

	23 年 3 月末現在
農業	
穀作	2,178
野菜・園芸	817
果樹・樹園農業	177
工芸作物	4
養豚・肉牛・酪農	428
養鶏・鶏卵	5
養蚕	0
その他農業	5,462
農業関連団体等	12,247
合計	21,321

（注）

1 農業関係の貸出金とは、農業者、農業法人および農業関連団体等に対する農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関する事業に必要な資金等が該当します。

2 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。

3 「農業関連団体等」には、J Aや全農とその子会社等が含まれています。

## 【資金種別別農業資金残高】

単位 百万円

種 類	23年3月末現在
プ ロ パ ー 資 金	18,147
農 業 制 度 資 金	3,173
農 業 近 代 化 資 金	1,910
そ の 他 制 度 資 金	1,263
合 計	21,321

(注)

- 1 プロパー資金とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
- 2 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体等が利子補給等を行うことでJAバンク石川が低利で融資するもの、③日本政策金融公庫等が融資するものがあり、ここでは①③の転貸資金と②を対象としています。
- 3 その他制度資金には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

## 【農業資金の受託貸付金残高】

単位 百万円

種 類	23年3月末現在
日 本 政 策 金 融 公 庫 資 金	2,829
合 計	2,829

(注)

JAバンク石川では、主にはJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

## (2) 担い手のニーズに応えるための体制整備

JAバンク石川では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでいます。

JAでは、農業融資担当者が、営農・経済担当がお聞きした情報も含めて把握して、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しています。また、県内17JAの本店には「担い手金融リーダー」を設置し、農業融資担当者の活動をサポートしています。

信連では、JAのサポート指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター機能」を構築し、これらの機能の拡充、強化を実施しています。

## (3) JA内事業間連携の強化

農業者の多様なニーズにJAをあげて応えていくため、営農・経済事業等との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上に、JA内事業間連携を強化しています。

## 【具体的取組】

## ① 農業経営管理支援プロジェクトチームの設置

出向く担い手支援体制構築に向けた取組みについては、JA石川県中央会、JA全農いしかわ、信連等で農業経営管理支援プロジェクトチームを設置、JA・県連が一体となり事業間連携の強化および出向く担い手支援体制構築

に向けた取組みを進めております。

② 農業資金研修の開催

担い手担当、営農・経済担当者向けの農業資金研修を開催しております。

(4) 6次産業化に向けた農商工連携の推進

J Aバンク石川では、J A石川県中央会、J A全農いしかわなどと連携し、生産者・J Aと加工流通業者との商談会の開催など、農業6次産業化に向けた農商工連携に取り組んでいます。

【商談会等開催状況】

商談会名	開催日	主催者	参加団体数	内容
第1回北陸商談会	H22. 10. 27	J Aバンク富山 J Aバンク石川 福井県J Aバンク 農林中央金庫	52 団体	成約件数 9 件

2 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援

J Aバンク石川は、担い手をサポートするため、ライフサイクルに応じて、次の取組みを行っています。

(1) 新規就農者の支援

J Aバンク石川では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、就農支援資金を取り扱っています。

【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】

単位 件, 百万円

	平成 22 年度 実行件数	平成 22 年度 実行金額	平成 23 年 3 月末 残 高
就農支援資金 (転貸)	2	11	61
合計	2	11	61

## (2) 経営不振農家の経営改善支援

J Aバンク石川では、負債整理資金の対応にあたり、特別融資制度推進会議を通じて関係機関と協議するなど、農業者の経営再建に向けて取り組んでいます。

### 【平成 22 年度の農業者の経営改善支援等の取組み実績】

(単位：先)

	期初経営改善支援取組先 A	Aのうち期中に再生計画を策定した先数 a	Aのうち期末に債務者区分がランクアップした先数 b	Aのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数 c	事業計画策定率 = a / A	ランクアップ率 = b / A
正常先①			—			
要注意先	うちその他要注意先②	3		3	0.0%	0.0%
	うち要管理先③					
破綻懸念先④	1			1	0.0%	0.0%
実質破綻先⑤	1		1		0.0%	100.0%
破綻先⑥						
	小計(②～⑥の計)	5	1	4	0.0%	20.0%
	合計	5	1	4	0.0%	20.0%

注)

・期初経営改善支援取組先および債務者区分は平成 22 年 3 月末時点でのものです。

## (3) J Aバンク石川講演会・セミナー等の開催

J Aバンク石川では、融資先のお取引先様や系統団体を招いた講演会と情報交換会を開催し、異業種間の情報交流を促進しています。

### 【平成 22 年度 講演会・セミナー開催実績】

講演会名	参加対象者	参加団体数	主催者	内容
第 33 回アグリファンドサロン (平成 22 年 6 月 9 日)	農業経営者	57 名	アグリファンド石川 (信連事務局)	講師：高橋一成 (農水省国際政策課課長補佐) 題目：「日本農業と国際事情」
第 34 回アグリファンドサロン (平成 22 年 10 月 25 日)	農業経営者	30 名	アグリファンド石川 (信連事務局)	講師：合瀬宏毅 (NHK解説委員) 題目：「戸別所得補償の時代へ」
第 34 回アグリファンド石川 通常総会基調講演 (平成 23 年 2 月 23 日)	農業経営者	57 名	アグリファンド石川 (信連事務局)	講師：後藤四郎 (株)ハチパン代表取締役 題目：「アジアマーケットについて」

## 3 経営の将来性を見極める融資手法を始め、担い手に適した資金供給手法の提供

J Aバンク石川では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

### (1) 負債整理資金による軽減支援

J Aバンク石川では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

#### 【平成 22 年度負債整理資金の貸出実績】

単位 件, 百万円

資金名	実行件数	実行金額	平成 23 年 3 月末 残高
農業経営負担軽減支援資金			22
畜産特別資金	4	153	157
その他	11	80	452
合計	15	233	631

- ・ 農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っています。
- ・ 畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換え資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っています。

## 4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

J Aバンク石川では、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

### (1) 災害被災者への支援

J Aバンク石川では、平成 22 年の異常気象の被災者を支援するため、災害対策窓口を設置したほか、災害対策資金の創設や個別融資先の経営状況に応じて償還条件の緩和等に対応しました。

単位 件, 百万円

取組事例	J A名	内 容	件数	貸付実行 金額
平成 22 年度猛暑対策	加賀	猛暑等の影響が大きかった生産農家を対象とした災害資金を創設。	8	8
合計			8	8

### (2) J Aバンク食農教育応援事業の展開

J Aバンク石川は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、J Aバンク食農教育応援事業を展開し、農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。

また、県下 J Aでは、下表のような食農教育などの実践活動に取り組んでいます。

【J Aバンク食農教育応援事業による活動内容】

J A名	活動名	活動内容
J A加賀	親子ふれあい農業体験	野菜の定植、収穫
J A根上	ごはんば〜が等の学校給食提供	特産品の学校給食提供
	農業体験学習	水稲・丸いもの定植・収穫
J A能美	ふれあいバス活動	圃場見学、農業体験
	J A施設見学	
J A白山	親子収穫体験	野菜収穫、買物体験、J A倉庫見学
J A松任	農業体験	農産物の定植・収穫等の農作業体験 (米、梨、しそ、茶豆、生姜、かぶら等)
	料理教室	かぶら寿司製造
J A金沢中央	いもほり体験	
J A金沢市	森と田んぼの学校	米づくり体験
J A石川かほく	農業体験	農産物の定植・収穫等の農作業体験 (ぶどう、マコモ、甘藷、酪農、柿)
	料理教室	マコモ料理、米粉ケーキ、味噌作り等
	クラフト製作	マコモのクリスマスリース製作
	田んぼのいきもの水族館	秋祭り会場にてブース設置
J A志賀	一日緑の学園	甘藷定植・収穫ほか
J A能登わかば	わかばキッズクラブ	農業体験・見学等

(3) 「クリーンビーチいしかわ」への協賛・参加

環境保全に取り組む「クリーンビーチいしかわ」に協賛し、毎年金沢市内で実施される海岸一斉清掃にボランティア参加しております。

(4) 「第33回J Aバンク石川くらしの絵コンクール」の開催

「くらしと農業」をテーマに、子どもたちがくらしを見つめることで正しい生活感の醸成を図るとともに、美術教育の振興を目的として、昭和53年より毎年開催しております。

優秀作品については、平成22年10月開催の「石川の農林漁業まつり」会場において展示するとともに、入賞者への表彰を行っております。また、優秀作品の冊子を作成し、入賞者をはじめご応募いただいた小・中学校へ配付しました。

(5) 「第22回J Aバンク石川ジュニアサッカー大会」への特別協賛

少年サッカーの普及と少年の健全な育成を目的として、平成22年10月、小松市木場潟中央園地多目的広場において、第22回J Aバンク石川ジュニアサッカー大会を開催しました。

- (6) 「第6回JAバンク石川年金友の会グラウンド・ゴルフ県大会」の開催  
高齢者の親睦融和と健康増進を図るため、平成22年10月、かほく市高松グラウンド・ゴルフ場において、第6回JAバンク石川年金友の会グラウンド・ゴルフ県大会を開催しました。
- (7) 「年金相談会」の開催  
各種年金受給手続きや、老後のくらしの相談等に応えるため、社会保険労務士による年金相談会を年間109回開催しました。
- (8) 「いしかわ里山創成ファンド」への出資  
石川県では、里山里海の資源活用によるビジネス創出、里山里海地域の振興、里山保全活動の推進等の支援を目的に、平成23年5月「いしかわ里山創成ファンド」を創設しており、JAバンク石川では基金の一部を出資しました。
- (9) 「いしかわecoファンド」への寄付  
石川県が実施する「いしかわ地球温暖化防止活動支援事業（いしかわエコチケット事業）」を応援するため、事業運営の原資となる「いしかわecoファンド」へ寄付を行いました。

以 上